令和８年度　部長政策宣言

中間報告

企　画　管　理　部　長

財　務　管　理　部　長

市　民　生　活　部　長

福　祉　保　健　部　長

こ　ど　も　家　庭　部　長

産　業　経　済　部　長

都　市　整　備　部　長

上　下　水　道　部　長

会　　計　　管　　理　　者

教育委員会事務局長

消　　防　　長

市民病院事務局長

令和８年度「政策宣言」中間報告

企画管理部長　長谷川　寛和

事　業　名	地域の特性を生かしたまちづくりの推進
目　　標	国の地域未来交付金を活用し、移住や創業支援、内川周辺エリアの価値向上に係る施策を着実に進めるほか、小杉駅周辺の賑わい創出や（仮称）高志大学の設立支援にも取り組み、本市の強みを生かした地域活性化を推進します。
進捗状況	地方創生の実現に向け、関係部局との緊密な連携のもと、国の交付金を効果的に活用した施策を展開しました。また、（仮称）高志大学の設立をはじめとする重要プロジェクトの推進に向け、県と歩調を合わせ、国に対して積極的な要望活動を行いました。
今後の対応	交付金事業を着実に進めるとともに、令和９年度からの新たな事業についても部局横断的に検討を進めていきます。（仮称）高志大学については、開学に向けて引き続き学校法人を支援していきます。

事　業　名	シティプロモーションの推進
目　　標	持続可能なまちづくりを進めるため、「選ばれるまち」として本市の魅力を戦略的に発信するシティプロモーションの取組を推進します。 今年度は、魅力発信につながる施策を部局横断的に連携し相乗効果を発揮できるよう、職員全体で意識向上を図るほか、効果的かつ一貫性のあるプロモーションに取り組むための指針を策定します。
進捗状況	指針策定等の支援業務を委託する事業者をプロポーザルにより選定しました。また、関係人口の創出・拡大を目指し今年度末にスタートする「ふるさと住民登録制度」を見据え、地域課題解決や地域活性化につなげる県のモデル事業に参画しています。
今後の対応	指針の策定に向け、ワークショップの開催等により市民の意見を伺い、コンセプトに反映していきます。また、職員研修を実施して情報発信のスキルとシティプロモーション推進に向けた意識向上を図ります。 加えて、「ふるさと住民登録制度」の理解促進及び円滑な活用に向け、地域振興会など市内の団体に県のモデル事業で得られた成果を周知・共有していきます。

事　業　名	人材の確保及び働き方改革の推進
目　　標	社会情勢の変化により多様化・複雑化する市民ニーズに的確に対応していくため、必要な人材の確保、育成に努めます。 また、職員一人ひとりがその能力を発揮し、働きがいを感じながら業務に取り組めるよう働き方改革を推進します。
進捗状況	職員採用試験においては、土木職の先行枠試験や通年募集の実施、１０月採用試験の選考スケジュールの見直しを行い、全ての試験区分で採用予定者数を確保できる見通しです。また、今後の人材確保に向けて、県内自治体合同の就職セミナーへの参加やインターンシップの受入れ拡大にも取り組みました。 働き方改革については、カスタマーハラスメントから職員を守り、行政サービスを適正に提供するため、「射水市カスタマーハラスメントに対する基本方針」を策定・公表しました。
今後の対応	就職セミナー等へ積極的に参加するとともに、就職説明会や技術職現場見学会を開催して射水市役所で働くことの魅力を広く周知し、今後の受験者数の増加を目指します。 人材育成については、データに基づく政策立案能力を高めるとともに、課題発見と解決のための手法の修得等を目的とした「いみず人財養成塾」を開講したところであり、来年度のプレゼンテーションに向け、研修に取り組みます。

令和８年度「政策宣言」中間報告

財務管理部長　中川　一志

事　業　名	防災・減災対策の推進
目　　標	能登半島地震における災害対応の検証結果を踏まえ、昨年度見直しを行った地域防災計画や各種防災マニュアル等に基づき、更なる防災対策や災害対応力の強化に取り組みます。 また、引き続き、住民が主体となって、それぞれの地区で想定される災害の特性等を踏まえた防災活動について定める「地区防災計画」の作成を促進するとともに、防災士の育成・養成に取り組むなど、共助による地域防災力の向上に努めます。
進捗状況	現在、防災行政無線の更新に向けた実施設計や災害時情報共有システムの構築、避難所生活環境改善のための資機材整備等を行っています。 地区防災計画については、計画策定に向けて、防災士派遣支援制度の周知を行うなど促進に努めています。また、防災士の育成・養成については、地域振興会から推薦いただいた方の資格取得に係る支援を行うとともに、防災士を対象とした研修会を開催するなどスキルアップに取り組んでいます。
今後の対応	防災対策及び災害対応力の強化については、引き続き事業の着実な進捗に努めます。 また、共助による地域防災力の向上については、引き続き地域と連携した地区防災計画の策定促進や新規防災士の登録支援、さらには、防災士の地域防災活動への積極的な関わり合いの促進等に取り組みます。

事　業　名	安定した税財源の確保及び健全で持続可能な財政運営
目　　標	国内外の社会情勢が及ぼす市税への影響を把握し、適正な課税を実施するほか、税負担の公平性の確保と納税秩序の維持のため、納税環境の整備と適切な滞納整理を実施し、市税等の収納率の向上を図ります。 また、第３次総合計画前期実施計画に掲げる事業を着実に推進するため、事業の選択と集中による予算の重点化を図るとともに、公共施設の適正管理や行政サービスにおける受益と負担の公平性を確保するため、施設使用料等の適正化（見直し）に取り組み、健全で持続可能な財政運営に努めます。
進捗状況	適正かつ公平な課税に努めるとともに、昨年度開始した「Ｗｅｂ口座振替受付サービス」や「キャッシュレス納付」の継続的な周知を実施し、納税環境の整備と利便性向上を図りました。 施設使用料については、受益と負担の公平性を確保する観点から、平成３０年９月に策定した「使用料・手数料の適正化に関する基本方針」に基づき、コスト計算等、必要な見直し作業を進め、市議会９月定例会において、その概要等を報告しました。

	また、新年度の予算編成に向け、各部局に求める要求水準等を明示した予算編成方針を策定・通知し、重点施策の推進と財政規律の徹底に向けた全庁的な意識の共有に努めました。
今後の対応	引き続き、適正かつ公平な課税に努め、多様な納付手段の普及促進を図ります。併せて、適切な滞納整理を実施し、収納率の向上に努めます。 各施設の設置目的等を踏まえた設定料金と急激な値上げによる市民生活への影響等との調整を図りながら、令和９年度の新料金の適用に向けて取り組みます。また、施設利用者に対しては、市報や市ホームページ等を活用し、新料金の運用についての周知に努めます。 併せて、新年度予算編成において、全ての事業の費用対効果を検証し、事業の選択と集中による予算の重点化・優先化を図り、限られた財源の適切な配分に努めます。

事　業　名	未利用市有地及び施設等の利活用
目　　標	閉校後の旧放生津小学校跡地施設については、民間活力を導入した複合機能を有する施設として再生できるよう、運営予定事業者とともに事業プランの作成等を進めます。 その他の未利用市有地や施設等についても、引き続き民間提案制度の公民連携手法を活用しながら、周辺エリアの価値向上に資する利活用を目指します。
進 捗 状 況	旧放生津小学校跡地施設については、運営予定事業者の提案内容を踏まえた、改修規模や事業費の算出、事業スキームの最適化検討等の調査を進めています。 その他の未利用市有地や施設等については、民間事業者等からの相談や提案に対し、関係部局との情報共有を図りながら、随時協議等を行っています。また、公民連携において、市内事業者の参画と地域経済循環の観点から、ワークショップ形式の勉強会を実施しました。
今後の対応	旧放生津小学校跡地施設の利活用では、引き続き調査を進め、最適な事業スキームの決定や財政負担を含めた市と運営予定事業者の役割分担等を整理します。 また、未利用市有地の売却や利活用に向けては、民間事業者や関係部局との協議を行いながら、最適な手法で事業化が図られるよう努めます。

令和８年度「政策宣言」中間報告

市民生活部長　森田　貴之

事　業　名	ＤＥＩの理念の実現と協働・共創の社会に向けた取組の推進
目　　標	ＤＥＩ（多様性、公平性、包括性）の理念の実現に向けて、性別による無意識の思い込み（アンコンシャス・バイアス）の解消の視点を踏まえた第３次男女共同参画基本計画の策定を進めるほか、多様性の尊重や多文化共生に対する理解を深めるための講演会や研修等に引き続き取り組みます。 また、地域活動を牽引する人材の確保と育成に向け、まちづくりに関わる多様な主体との連携を深めるとともに、市民の地域活動への参加を後押しする取組を実施するなど、協働・共創・参画意識の醸成を図ります。
進捗状況	国・県の計画や市民意識調査の結果等を踏まえ、アンコンシャス・バイアスの解消をはじめとする課題や施策の方向性を整理し、第３次男女共同参画基本計画の骨子案を取りまとめました。
今後の対応	第３次男女共同参画基本計画の今年度中の策定に向けて作業を進めるとともに、アンコンシャス・バイアスへの気づきや理解を深める講演会を開催するなど、ＤＥＩ（多様性、公平性、包括性）の推進に取り組みます。 また、地域活動への参加を後押しする「ムズムズポイント事業（協働部門）」を実施するなど、新たな担い手の発掘や地域活動への継続的な関わりの促進を図ります。

事　業　名	持続可能で利用しやすい公共交通の推進
目　　標	射水市地域公共交通計画に基づく、持続可能で利用しやすい公共交通の実現を目指し、ＡＩオンデマンドバス「のるーと射水」の運行エリア拡大や、コミュニティバス等の運転手不足対策に取り組むほか、引き続き、越中大門駅のバリアフリー化を推進します。
進捗状況	４月から市内全域で本格運行した「のるーと射水」については、自治会・町内会等への説明会や乗車体験会を実施することで、利用方法等の周知に努めています。また、交通事業者と連携し、引き続き、運転手の離職防止や新規雇用対策に取り組んでいます。 越中大門駅エレベーターこ線橋については、今年度中の完成を目指し工事を進めています。
今後の対応	「のるーと射水」をはじめとした公共交通については、利用状況に応じた運行形態を検討するとともに、交通事業者と連携し運転手の確保に係る取組を継続するなど、引き続き、持続可能で利用しやすい公共交通の推進に取り組みます。

事　業　名	地球温暖化対策の推進
目　　標	射水市地球温暖化対策実行計画に基づき、２０５０年までに本市における温室効果ガス排出量実質ゼロを目指し、市民・事業者・行政が一体となり、「ゼロカーボンシティいみず推進事業」をはじめ地球温暖化対策の取組を推進します。
進捗状況	環境ポイント事業「いみずＥＣＯチャレンジ」や体験型環境学習事業「ＥＣＯキッズスクール」をはじめ、ゼロカーボンシティいみず応援隊長「雷鳥」によるＰＲ活動を継続して実施したほか、新たにｍｙｍｉｚｕ自治体アライアンスへ参画しマイボトルの利用促進を図るなど、市民の皆様に広く発信するための周知啓発事業を実施し、温室効果ガス排出量削減に向けた取組を推進しました。
今後の対応	前期の取組を引き続き実施するほか、事業者における温室効果ガス排出量削減に向けて、ゼロカーボンシティいみず環境パートナー認定事業者・団体と連携した取組を推進します。

令和８年度「政策宣言」中間報告

福祉保健部長　菅原　剛史

事　業　名	地域包括ケア体制の更なる強化と地域福祉の向上
目　　標	昨年度見直しを行った「いみず地域共生プラン」に基づき、引き続き、つながり支え合う地域社会の構築に努めます。また、高齢者、障がい者、認知症の方などのニーズを捉えた、より効果的な福祉施策を展開するため、「第８期障がい福祉計画（第４期障がい児福祉計画）」、「射水市高齢者保健福祉計画・第１０期介護保険事業計画」を策定します。
進捗状況	「第８期障がい福祉計画（第４期障がい児福祉計画）」については、障がい者等のアンケート調査結果や国の基本指針を踏まえ、計画策定作業を進めています。 また、「射水市高齢者保健福祉計画・第１０期介護保険事業計画」については、市民アンケート調査や関係者調査等を分析し、国の動向も盛り込みながら、計画策定作業を進めています。
今後の対応	「第８期障がい福祉計画（第４期障がい児福祉計画）」及び「射水市高齢者保健福祉計画・第１０期介護保険事業計画」については、各協議会等で計画素案を協議後、パブリックコメントによる意見を参考とした上で、来年３月の公表に向けて策定します。

事　業　名	健康・福祉計画に基づく施策の推進
目　　標	市民一人ひとりが生涯にわたって健康で生きがいを持って暮らせるよう、「第３次射水市健康増進プラン」に掲げる８つの行動目標「IMIZUSHI 健康８」を柱に健康意識の醸成と、市民が主体となる健康づくりの活動支援や環境づくりを進めます。 また、関係団体等と連携し各地域でのフレイル予防教室を実施するなど、高齢者の保健事業と介護予防の一体的な事業を推進します。
進捗状況	市政出前講座や健康づくりボランティアへの研修等を通して、健康づくり・介護予防に取り組んでいます。今年度は「栄養・食生活」に重点を置き、「モアベじカットしおフェスタ」では野菜摂取と減塩について、「朝ごはん DE スイッチ ON！フェスタ」では朝ごはんの重要性について、体験を通して楽しく学べるよう努めています。 また、高齢者の保健事業と介護予防の一体的な事業については、２７地域振興会中１８振興会にフレイル予防教室を実施しました。
今後の対応	引き続き、関係機関と連携し普及啓発を行うなど、市民の健康意識の醸成に努めます。 また、全２７地域振興会でフレイル予防教室を実施し、高齢者の健康づくりに関する啓発活動を推進していきます。

事　業　名	持続可能な福祉サービス提供体制の強化とＤＸの推進
目　　標	質の高い福祉サービスを持続的に提供できる体制を確立するため、福祉人材の確保・育成・定着に重点的に取り組みます。併せて、介護現場のＤＸ化を推進し、各事業所への伴走支援を通じて、業務効率化とサービスの質の向上を図ります。
進捗状況	今年度新設した「外国人介護人材雇用緊急支援事業」や「介護スポットワーク活用支援事業」をはじめとした各支援制度について、市内介護事業所等への周知啓発やセミナーの開催により、利用促進に努めています。 また、富山福祉短期大学や民間事業者と連携した「介護の魅力ＰＲ事業」により、児童・生徒の介護の仕事についての理解促進に取り組んでいます。
今後の対応	「ケアプランデータ連携システム」の導入・活用支援に取り組み、介護現場の業務効率化とサービスの質の向上を進めます。 各支援制度の周知に努め、引き続き福祉人材の確保に取り組むとともに、福祉サービス事業所の声を聴きながら、効果的な施策について検討を進めます。

令和８年度「政策宣言」中間報告

こども家庭部長　星野　泰志

事　業　名	射水市こども計画の推進
目　　標	令和７年度からスタートした「射水市こども計画」を着実に推進するため、令和７年度事業の点検・評価を行い、子育て世帯への支援体制の整備を図るなど、こども施策の充実に取り組みます。
進捗状況	去る８月２５日にこども・子育て会議を開催し、令和７年度の各種施策等の実施状況や目標指標の達成状況等を踏まえ、点検・評価を行い、各事業の課題及び今後の方向性について意見交換を行いました。
今後の対応	こども・子育て会議や、こどもや子育て世帯等からいただいた意見などを踏まえ、関係部局と情報共有を図りながら各種こども施策を着実に推進します。

事　業　名	こども見守りアウトリーチ事業の推進
目　　標	児童虐待防止に向けて子育て世帯が孤立しないよう支援するため、市内全ての小学校・中学校の巡回訪問を実施し、広く情報を収集して、支援が必要な世帯を漏れなく把握できるよう努めます。併せて、要保護児童対策協議会を中核とし、支援ニーズの高い世帯に対して継続的に訪問してこどもの状況を把握しながら、見守り、生活習慣の習得等の必要な支援に繋げます。
進捗状況	市内全ての小学校・中学校を訪問し、支援が必要な世帯について、情報共有を行いました。また、学校の夏休み期間には、支援ニーズの高い世帯に対し食支援を行うとともに、家庭や対象児童の状況の把握、見守りを実施しました。
今後の対応	引き続き、支援ニーズの高い世帯に対して、継続的に訪問し、家庭やこどもの状況を把握しながら見守りを行うとともに、必要な支援に繋げます。

事　業　名	子育て支援アプリ「いみすく」ｂｙ母子モの機能拡充
目　　標	母子健康手帳機能と地域の子育て情報発信機能を合わせ持ったアプリの機能の拡充を図ります。産後ケア申請機能と乳幼児健診（３～４か月児健診）機能の構築を行うことにより、市民の利便性向上を図ります。
進捗状況	産後ケア申請機能の構築を行い、７月から運用を開始し、使い慣れたアプリから申請しやすい環境の充実を図りました。
今後の対応	引き続き、乳幼児健診（３～４か月児健診）機能の構築に向けて準備を進め、アプリを活用した市民の利便性の向上を図ります。

令和８年度「政策宣言」中間報告

産業経済部長　塩谷　明永

事　業　名	市内中小企業等への支援と新たなビジネスチャンスの創出
目　　標	長期化する物価高騰等により多大な影響を受けている市内中小企業や市民に対して的確な支援を行い、ビジネス支援センターにおいても、プッシュ型の伴走支援をはじめ、市内高等教育機関の学生の起業・創業支援や学生と企業との連携を促進することにより、市内産業の活性化を図ります。
進捗状況	長期化する物価高騰等に対する支援として、現在「いみずデジタル商品券」事業を行っています。また、ビジネス支援センターでは、省エネ機器の導入を支援する「中小企業カーボンニュートラル推進事業」の相談受付をするほか、経営相談、セミナー、交流イベントを通して、企業及び学生の挑戦を後押ししています。
今後の対応	ビジネス支援センターにおいては、引き続き市内企業の支援を行うとともに、学生と企業との交流を促進するため、交流イベントを行っていきます。

事　業　名	稼げる観光の実現と移住・空き家利活用の促進
目　　標	台湾インバウンド誘客事業や、イベント・祭りのマネタイズ（収益化）に取り組むほか、リニューアルオープンした道の駅まるごと射水周辺エリアの魅力向上に努めます。 また、移住と空き家利活用の相談窓口や関係団体等と連携し、移住・定住の拡大と首都圏をはじめとした都市部在住の若年層との関係構築を図るとともに、内川周辺エリアの価値向上と新たな担い手の発掘に取り組み、来訪者や移住希望者等に選ばれるまちを目指します。
進捗状況	７月に台湾において観光商談会を開催したほか、富山新港花火大会の有料観覧席については、昨年を大幅に上回る９０４席を販売しました。道の駅まるごと射水については、周辺施設と連携し、８月に小学生向けイベントを合同開催するなど魅力向上に努めています。 移住・定住の促進については、相談窓口等と連携し、本市にゆかりのある２０代の若者が交流する「around25 いみずの同窓会 in 射水」を８月に開催し、移住を見据えた関係づくりに取り組みました。また、湊町ならではの暮らしと生業が醸し出す内川の情景を未来につないでいくための条例等の検討に着手しました。
今後の対応	１０月には、台湾で観光トップセールス等を開催し、更なるインバウンド誘客に取り組みます。 空き家利活用及び移住・定住の促進については、ソーシャル・インパクト・ボンドの手法を活用し、空き家の掘り起こしから利活用、移住・開業等の促進を一体的に取り組む仕組みの構築を進めます。また、内川周辺エリアにおいては、１１月にリノベーシ

	ョンスクールの開催を予定しており、新たなプレイヤーの発掘・育成に取り組みます。

事　業　名	農林水産業・ふるさと納税の推進
目　　標	アグリテックバレー推進サポートセンター（ファーマーズドアイミズ）において、人手不足など農業の課題解決に取り組むとともに、地域農業のビジョンとなる「地域計画」の実現に向けた取組を促進します。 水産業では「いみずサクラマス」の市内一貫生産の取組を支援するなど持続可能な資源管理型漁業の推進を図るとともに、引き続き「いみずのさかな」ブランド力の向上に努めてまいります。 ふるさと納税については寄附額拡大に向け、返礼品の充実を図り、本市特産品の魅力を広く発信します。
進 捗 状 況	アグリテックバレー推進サポートセンターにおいて新商品の開発に取り組んでいるほか、農業体験教室の開催や首都圏でのＰＲ、農地取得に向けた伴走支援等により、新規就農者の確保に努めています。 庄川漁連において親魚からの採卵、受精を実施するなど「いみずサクラマス」の市内一貫生産に向けた取組が順調に進行しています。また、「いみずのさかな」ブランド力の向上にむけて、姉妹都市等での PR 事業を実施しています。 ふるさと納税については、新たな野菜や果樹を取り扱う事業者の拡大、市内企業が製造・加工した商品の追加、海産物のバリエーションを増やすなど返礼品の充実を図りました。
今後の対応	引き続き、アグリテックバレー推進サポートセンターによる農業者の相談や支援に取り組むほか、「地域計画」実現に向けた取組を促進します。また、イベント開催時、積極的に射水市産農水産物のＰＲを行っていきます。 ふるさと納税については、返礼品の充実に加え、現地決済型ふるさと納税への新たな加盟店の拡大に努め、地域の事業者と連携しながら、本市特産品の魅力を発信していきます。

令和８年度「政策宣言」中間報告

都市整備部長　山口　修

事　業　名	生活環境の充実
目　　標	誰もが安全・安心して利用でき、子育て世代に選ばれる公園施設の整備に向け、大型複合遊具の更新やインクルーシブ遊具の新設に加え、子どもたちの五感を育み、創造力を養う木製遊具を設置します。 また、公園施設の計画的な修繕や安全対策を強化し、快適性の向上を図ります。
進 捗 状 況	公園施設の整備については、田中基金を活用し、大島中央公園にインクルーシブ遊具を整備しました。 また、歌の森運動公園における大型複合遊具の更新工事は、公募型プロポーザルにより事業者を決定し、遊具の詳細設計を進めています。
今後の対応	歌の森運動公園の大型複合遊具については、令和９年３月下旬の一部工事完成に向けて、着実に整備を行います。

事　業　名	安全で安心な道路環境の確保
目　　標	橋梁の長寿命化対策及び幹線道路の舗装補修について、個別施設計画に基づき、着実に推進するとともに、定期的な道路パトロールの実施、区画線や路面標示の引き直しに集中的に取り組むなど、誰もが安全・安心して利用できる道路環境の確保に努めます。 また、能登半島地震により被災した市道の復旧工事を引き続き推進します。
進 捗 状 況	橋梁補修４橋、舗装補修３路線、道路改良２路線の工事のほか、幹線道路を中心に区画線や路面標示の引き直しを実施しています。 地震により被災した市道の復旧は、災害査定を受けた全１３箇所中８箇所の復旧を終え、３箇所の復旧工事を実施しています。
今後の対応	今後も橋梁補修、舗装補修、道路改良工事及び能登半島地震により被災した市道の早期復旧に取り組み、安全で快適な道路交通の確保に努めます。

事　業　名	和田川浸水対策の推進
目　　標	「和田川浸水対策基本方針」に基づき、浸水被害の軽減を図るため、水門操作時の危険性を排除し、水位変化に応じて自動で開閉する「マルチフラップゲート」による水門施設改良工事を実施し、災害に強いまちづくりを推進します。
進捗状況	２号水門（幸町)、３号水門（緑ヶ丘）の「マルチフラップゲート」による水門施設改良工事は、令和９年３月下旬の完成に向けて入札手続きを開始しています。引き続き、６号水門（庄和町）の工事発注に向けた準備を進め、和田川浸水対策に取り組みます。
今後の対応	「マルチフラップゲート」による水門施設改良工事の完成を目指します。

令和８年度「政策宣言」中間報告

上下水道部長　橋本　雅清

事　業　名	災害に強く、安心できる水道の維持
目　　標	万が一の災害時にも安心して水をお届けできるよう、古くなった水道管や施設の更新を計画的に行い、地震にも強い水道システムづくりを推進します。
進捗状況	水道管路の更新では、国の交付金を活用し、基幹管路及び老朽管路の更新事業を積極的に実施しています。 また、施設の更新においては、水道総合コントロールシステムのテレメータデジタル化工事を発注し、整備を進めています。
今後の対応	引き続き、効率的な管路の更新及び施設の設備更新を推進し、地震にも強い水道システムづくりを推進します。

事　業　名	暮らしを守る下水道整備
目　　標	能登半島地震で被害を受けた下水道管の早期復旧に努めます。また、近年増えている集中豪雨から暮らしを守るための浸水対策として、特に作道、小島及び堀岡地区での雨水対策施設の早期整備に努めます。
進捗状況	地震で被災した下水道管は国との協議を行いながら、復旧工事を進めており、被災延長のうち約７割が完了しました。 また、雨水対策事業では、作道地区の整備が完了し供用開始しています。小島地区では調整池整備工事や機械電気設備工事、堀岡地区では排水ポンプ増設に向けた用地の造成工事や機械電気設備工事を実施しています。
今後の対応	引き続き被災した下水道管の早期復旧に努めます。また、雨水対策施設整備についても事業進捗を図り、浸水被害の軽減に努めます。

事　業　名	未来へつなぐ、持続可能な事業運営
目　　標	これからも安全な水を提供し快適な暮らしを支え続けるため、災害に強く、長く使える施設づくりを推進します。さらに、持続可能な料金体系について慎重に検討を進めるとともに、民間企業や近隣自治体との協力も視野に、より効率的で質の高いサービスを提供できるよう努めます。
進捗状況	「水道ビジョン」「下水道ビジョン」に示す投資・財政計画について、最新の事業費や収支見通し等を反映し、計画内容の精度向上を図りながら事業運営を行っています。 　また、持続可能な料金体系について、上下水道事業経営委員会において検討を進めています。
今後の対応	今後も、現状分析を継続しながら、施設の強靭化や事業の効率化を図るとともに、民間事業者や近隣自治体との連携も進め、将来にわたり持続可能な上下水道事業の運営に努めます。

令和８年度「政策宣言」中間報告

会計管理者　大居　弘

事　業　名	公金の安全かつ効率的な管理・運用
目　　標	正確な収支見通しの把握に努め、安全性の確保を最優先に流動性を考慮し、公金の効率的な管理・運用を図ります。
進捗状況	公金の管理・運用については、安全、確実でかつ有利な定期預金等での運用を行い、利子収入の確保に努めています。
今後の対応	引き続き、収支見通しの把握に努め、安全確実な公金管理と有利な資金運用に努めます。

事　業　名	公金取扱状況検査の実施
目　　標	各課・出先機関等現金出納員等の公金取扱状況検査を実施し、適正かつ確実に会計事務が行われるよう指導するとともに、公金の取扱いに対する職員の意識向上を図ります。
進捗状況	金融機関２か所で現地検査を実施し、適正な執行の確認と事務の指導を行いました。
今後の対応	各課・出先機関への現地検査・書面検査（１２か所予定）を来年２月末までに実施します。

事　業　名	適正かつ迅速な会計事務処理の推進
目　　標	法令や会計規則等に基づき、厳正かつ迅速な伝票審査を行うとともに、適正な会計処理と会計事務の効率化を図るため、各部局会計事務担当職員に対する指導・研修を実施します。
進捗状況	基礎知識の習得と適切な会計処理及び事務の効率化を図るため、主に新規採用者を中心とした研修を４月に実施しました。
今後の対応	引き続き、適正かつ確実な支払事務の執行に努め、会計事務の指導・研修については１０月に２回目を実施します。

令和８年度「政策宣言」中間報告

教育委員会事務局長　作道　賢次

事　業　名	教育環境の整備・充実
目　　標	新湊放生津小学校の大規模改修工事を確実に推進するとともに、片口小学校大規模改修工事の実施設計に取り組むなど、学校施設の計画的な整備に努めます。 また、新たに全中学校体育館に空調設備を整備するほか、次年度着手する小学校体育館の空調設備の実施設計に取り組み、教育環境の整備・充実と合わせ、防災機能の強化を図ります。
進捗状況	新湊放生津小学校の大規模改修工事は、来春の学校移転に向け計画どおり進捗しており、片口小学校の大規模改修工事についても実施設計に着手しました。 全中学校体育館の空調設備の整備については、当初予定を前倒しするなど順調に進めており、次年度着手予定の小学校体育館の空調設備についても、実施設計に着手しました。
今後の対応	引き続き、計画的に教育環境の整備・充実、防災機能強化に取り組みます。

事　業　名	図書館の機能強化
目　　標	図書館サービスの向上を図るため、０歳から１５歳までを対象とする児童書の電子書籍を整備するほか、利用者自身による図書の貸出や返却を可能とする図書管理のＤＸ化を推進し、利便性の向上を図ります。
進捗状況	現在、児童書の電子書籍の選書や必要となる機器の設置等に取り組んでいるほか、図書管理のＤＸ化を実現するため、各図書館の書籍を管理するためのＩＣタグの貼り付け等を実施しています。
今後の対応	引き続き、来年１月中のサービス開始を目指し、各事業を円滑に進めます。

事　業　名	学校部活動の地域展開の促進
目　　標	令和７年度中に休日に活動している全ての部活動の地域展開が完了したことから、平日の活動を含めた地域クラブとのさらなる連携・充実を図り、持続可能な体制づくりを進めるとともに、生涯にわたってスポーツ・文化芸術活動に親しむ機会の確保・充実を図ります。
進捗状況	部活動の地域展開において、令和９年度から地域クラブによる持続的かつ安定的なスポーツ・文化芸術活動の機会を提供するため、地域クラブを統括し、運営・管理業務を一体的に担う体制の構築を進めています。
今後の対応	子どもたちが希望する種目を行うことができるようニーズ調査を実施するとともに、今後策定される県のガイドラインを基に本市のガイドラインを策定します。

事　業　名	海竜スポーツランドの整備方針の決定
目　　標	施設の老朽度からも早期に整備方針を定める必要があることから、民間活力を念頭に置きながら、ベイエリアの賑わい創出に寄与し、市民が利用しやすい施設となるよう整備方針の検討を進めます。
進捗状況	市内全域を対象として候補地の分析を行うことを目的に、海竜スポーツランド再整備候補地検討支援業務委託契約を締結し、調査を実施しています。
今後の対応	ベイエリアのにぎわい創出並びに市民が利用しやすい施設となるよう、引き続き整備方法等について検討を進めます。

令和８年度「政策宣言」中間報告

消防長　大隅　将由

事　業　名	消防力の維持・強化
目　　標	地域防災の拠点となる分団屯所と消防ポンプ自動車を計画的に整備するとともに、消防署では特殊車両の整備を行い、消防力の維持・強化に努めます。 また、海上での災害に対応するため、令和９年３月末に富山市・高岡市・射水市で共同運航する消防艇の就航に向け３市の連携を図ります。
進捗状況	大門分団屯所の改修工事は計画より早く進んでおり令和９年１月に完成、また新湊分団に配備予定の消防ポンプ自動車は１月下旬に納入予定です。 消防署に配備する特殊車両は自動車メーカーからのシャーシ（車体）の供給が遅れていることから、現在のところ年度内の納入が難しい状況です。 共同運航する消防艇の建造については、計画どおり進んでおり１月中旬に進水式を予定しています。
今後の対応	秋・春火災予防運動に合わせ消防訓練を実施し、消防団間の連携強化を図ります。また、２月に消防団員研修会を実施し知識・技術の向上を図ります。 新湊分団に配備する消防ポンプ自動車の引渡し式について、２月上旬実施に向け準備を進めます。 ３月２９日に予定している消防艇の就航式に向け準備を進めます。

事　業　名	マイナ救急の普及啓発
目　　標	今年度より本格運用するマイナ救急を活用して保険情報や病歴等を確認し、円滑な病院選定、的確な処置を行い救急サービスの向上を図ります。 また、市民や事業所等に対し講習会の開催を推奨し、応急手当及びマイナ救急の普及啓発に努め、救命率の向上を図ります。
進捗状況	救命講習会等を通して救急車の適正利用及びマイナ救急の普及啓発を行っています。またホームページ等で＃７１１９やマイナ救急について普及啓発を行っています。しかし、マイナ救急の実施率は低い状況にあります。 市民や事業所等を対象とした救命講習については、昨年同期より受講者は若干減少しています。
今後の対応	引き続き救命講習の開催を推奨し応急手当及び救急車の適正利用・マイナ救急について普及啓発を行います。 年内に救急隊員２名の養成を行い、令和９年３月末には救急救命士資格取得者が１名増える予定です。引き続き計画的に救急救命士及び隊員を養成し救命率の向上を図ります。

事　業　名	防火安全対策の推進
目　　標	住宅火災による死傷者をなくすため、住宅防火診断や防火街頭宣伝を実施し住宅用火災警報器などの必要性を啓発することで、防火意識の向上を図ります。 近年、事業所等の火災が多いことから、計画的に査察を実施し消防用設備等に不備がないかを確認するとともに、通報、消火、避難が確実にできるよう指導し、災害発生時の被害の軽減に努めます。
進捗状況	計画に基づき、住宅防火診断を９月末までに１,０５０戸実施し、住宅防火対策の啓発を行っています。 事業所等に対して計画どおり査察と自衛消防訓練を実施し、防火対策と災害発生時の通報、消火、避難が確実にできるよう指導を行っています。
今後の対応	引き続き計画に基づき住宅防火診断を実施します。秋・春の火災予防運動期間中にショッピングセンター等において、住宅防火対策街頭宣伝を実施し、火災による死傷者ゼロを目指します。 計画に基づき、事業所等に対する査察及び自衛消防訓練を実施し、事業所等の防災力向上に努めます。

令和８年度「政策宣言」中間報告

市民病院事務局長　堀　修二

事　業　名	健全経営に向けた経営強化の推進
目　　標	将来にわたり安心して医療を受けられる体制を確保するため、救急医療体制の強化や地域包括ケアシステムを推進することで、急性期から回復期まで質の高い医療を幅広く提供していくとともに、「射水市民病院経営強化プラン」で掲げた取組を着実に実施することで経営強化を推進します。
進捗状況	急性期から回復期までの幅広い医療提供体制の確保や医業収益の向上を図るため、救急患者受入体制や富山大学附属病院との連携を強化しています。
今後の対応	計画を上回る医業収益を確保していますが、物価高騰等の影響により引き続き厳しい経営状況となっていることから、経営強化プランで掲げた取組を着実に実行して経営強化に取り組みます。

事　業　名	効率的な病院運営の推進
目　　標	国の制度改正の内容を精査・分析し、医療体制の整備、充実を図ることで収益向上に努めるとともに、医療ＤＸを推進し効率的で質の高い医療の提供に取り組みます。
進捗状況	令和８年６月から実施された診療報酬改定について、着実に収益向上を図るため施設基準システムを導入しました。 また、医療用生成ＡＩを活用した音声認識システムや、人間ドックの予約システムを導入しました。
今後の対応	見守りカメラ付きナースコール設備の更新や、医療用生成ＡＩを活用した看護記録システムの導入を予定しており、ＩＣＴ化を推進することで効率的な病院運営に取り組みます。

事　業　名	医療人材の確保
目　　標	地域医療の持続性を確保するとともに、医療ニーズに適切に対応するため、医師・看護師をはじめとした医療人材の確保に努めます。
進捗状況	令和８年４月から２名、７月から１名、合計３名の総合診療医を確保しました。
今後の対応	引き続き、地域が必要とする医療提供体制の確保のため、医療人材の確保に取り組みます。

事　業　名	人間ドック・健康診断の受診促進
目　　標	病気の早期発見や生活習慣病予防、健康チェックのために有用な人間ドックや健康診断等の受診者数の増加に努めます。
進捗状況	令和８年４月から人間ドックの予約システムを導入したほか、射水市国民健康保険や協会けんぽの助成制度を活用して受診体制の充実に取り組みました。
今後の対応	引き続き、健康の維持や病気の予防推進のため、関係機関と連携して人間ドックや健康診断の受診促進に努めます。